

茨木市男女がともにつくるまちづくり
アンケート調査結果報告書
【小中学生調査】

平成 29 年（2017 年）3 月



茨木市

目 次

調査の概要.....	1
(1)調査目的	1
(2)調査対象	1
(3)調査期間	1
(4)調査内容	1
(5)回収状況	1
(6)報告書の見方.....	1
調査結果.....	2
(1)性別.....	2
(2)同居する家族構成.....	3
(3)おもに家事をしている人.....	4
(4)手伝いの内容.....	6
(5)誰が家事をするのが一番良いと思うか.....	7
(6)誰が子育てをするのが一番良いと思うか.....	8
(7)誰が生活費をかせぐのが一番良いと思うか.....	9
(8)性別役割分担意識.....	10
(9)保護者から言われていること.....	11
(10)学校生活で感じること.....	13
(11)学校で勉強した内容.....	15
(12)「男だから○○」や「女だから○○」と言われた経験の有無.....	17
(13)「男だから○○」や「女だから○○」と言われた原因.....	18
(14)「男だから○○」や「女だから○○」と言われた時の気持ち.....	19
(15)「男だから○○」や「女だから○○」と言った相手.....	20
(16)将来なりたい仕事.....	21
(17)職業を選ぶ上で重視する事.....	23
(18)「デートDV」の認知度.....	24
(19)交際関係について変だと思うこと.....	25
(20)性についての悩み(体のことなど)の相談相手.....	26
(21)ローズWAMの認知度.....	27
(22)ローズWAMの利用内容.....	28
(23)現在の性で生まれたことについての考え.....	29

調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、小・中学生の男女共同参画意識、デートDVに関する意識を把握し、男女共同参画施策の推進・啓発を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象

市内の中学校に通う中学3年生、市内の小学校に通う小学5年生

(3) 調査期間

平成28年8月18日～9月8日

(4) 調査内容

- ・家庭・子育てについて
- ・学校での生活について
- ・「男だから〇〇」「女だから〇〇」と言われたことについて
- ・将来の仕事について
- ・「デートDV」について(中学生のみ)
- ・ローズWAMについて(中学生のみ)

(5) 回収状況

	標本数	回収数 (回収率)		
		女性	男性	不詳・無回答
小学生	639	276 (98.0%)	324	26
中学生	447	199 (96.0%)	211	19

(6) 報告書の見方

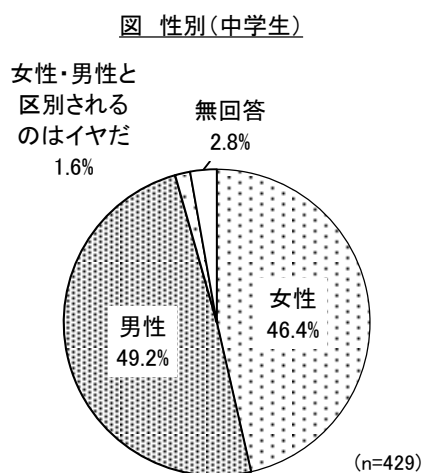
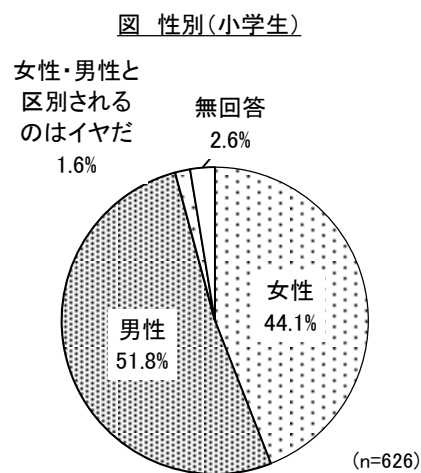
1. 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問では、百分率(%)の合計は100.0%を超える。
2. 百分率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体の示す数値とが一致しないことがある。
3. 図中にある「n」は、集計対象票数(あるいは、分類別の該当対象数)を示し、比率は「n」を100.0%として表した。
4. クロス集計の結果を示す図表においては、該当者の少ない分類項目、及び「その他」「不明(無回答)」は省略しているものがあり、各分類項目の該当対象数の合計と集計対象総数は一致しないことがある。

調査結果

(1) 性別

問1 あなたの性別は。(○は1つ)(書きたくない人は書かなくてもよい。)

回答者の性別は、小学生では「女性」44.1%・「男性」51.8%、中学生では「女性」46.4%・「男性」49.2%となっている。

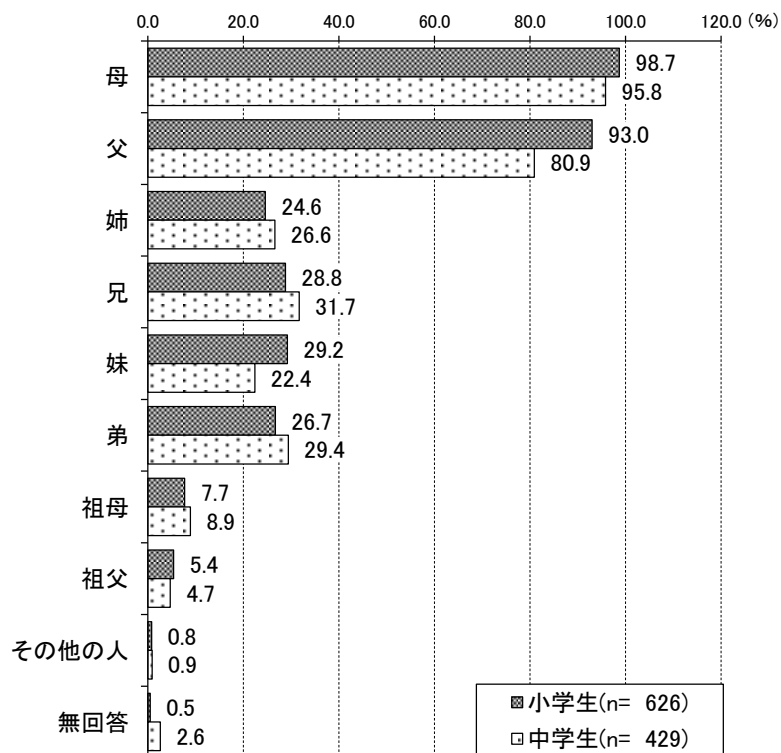


(2)同居する家族構成

問2 あなたがいっしょに住んでいる家族は。(〇はいくつでも)

同居する家族は、「母」と「父」の割合が高く、「母」は小学生98.7%・中学生95.8%、「父」は小学生93.0%・中学生80.9%となっている。また、「姉」「兄」「妹」「弟」の割合はいずれも2～3割程度となっている。

図 同居する家族



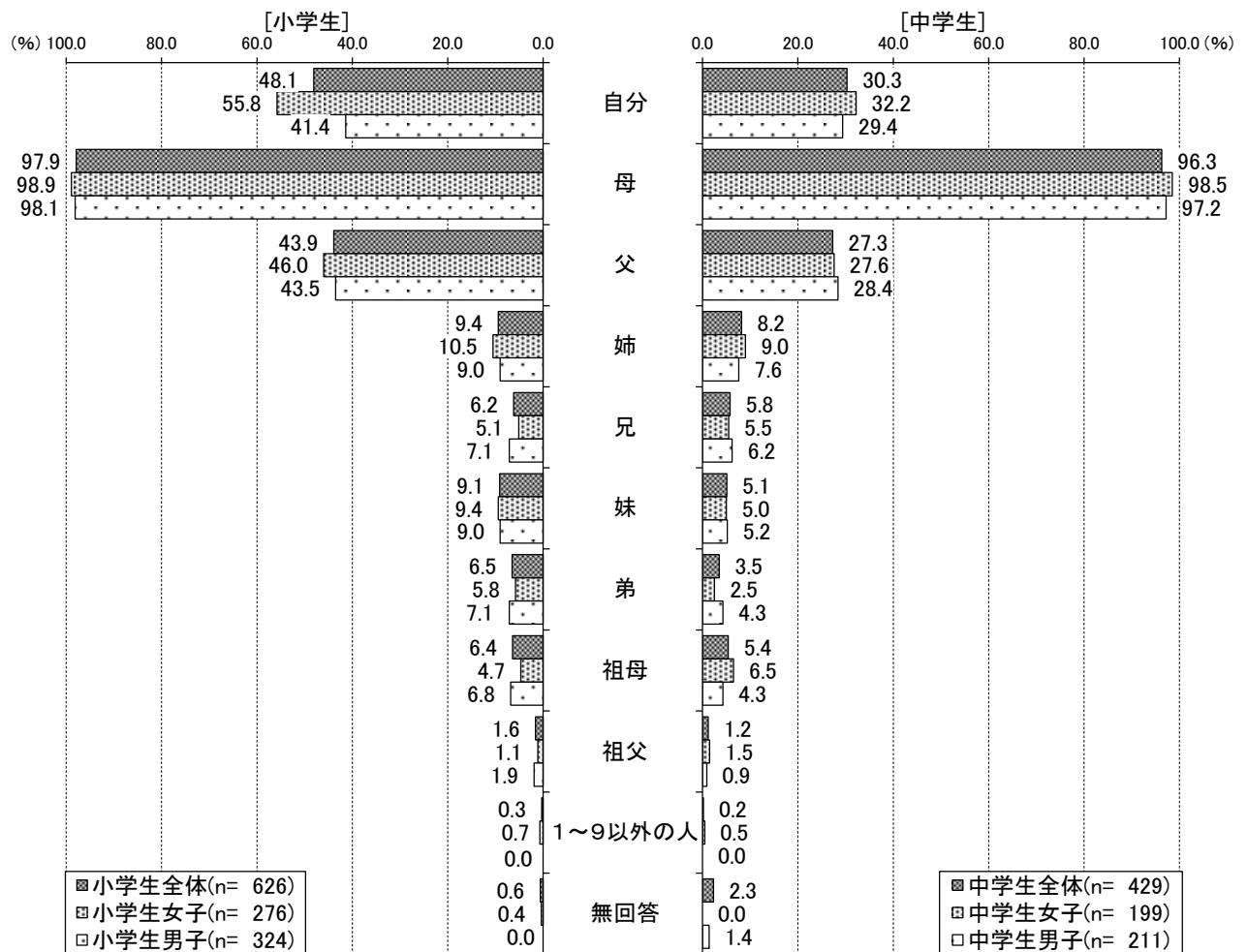
(3)おもに家事をしている人

問3 あなたの家では、主に料理・掃除・洗濯など家庭の仕事（家事）をしているのは誰ですか。（一番している人には◎、その他の人には○はいくつでも）

家事をしている人は「母」の割合が高く、小学生97.9%・中学生96.3%となっている。これに次いで「自分」（小学生48.1%・中学生30.3%）、「父」（小学生43.9%・中学生27.3%）の割合が高くなっている。「自分」と「父」の割合は小学生では4割を超えているが、中学生では約3割にとどまっている。

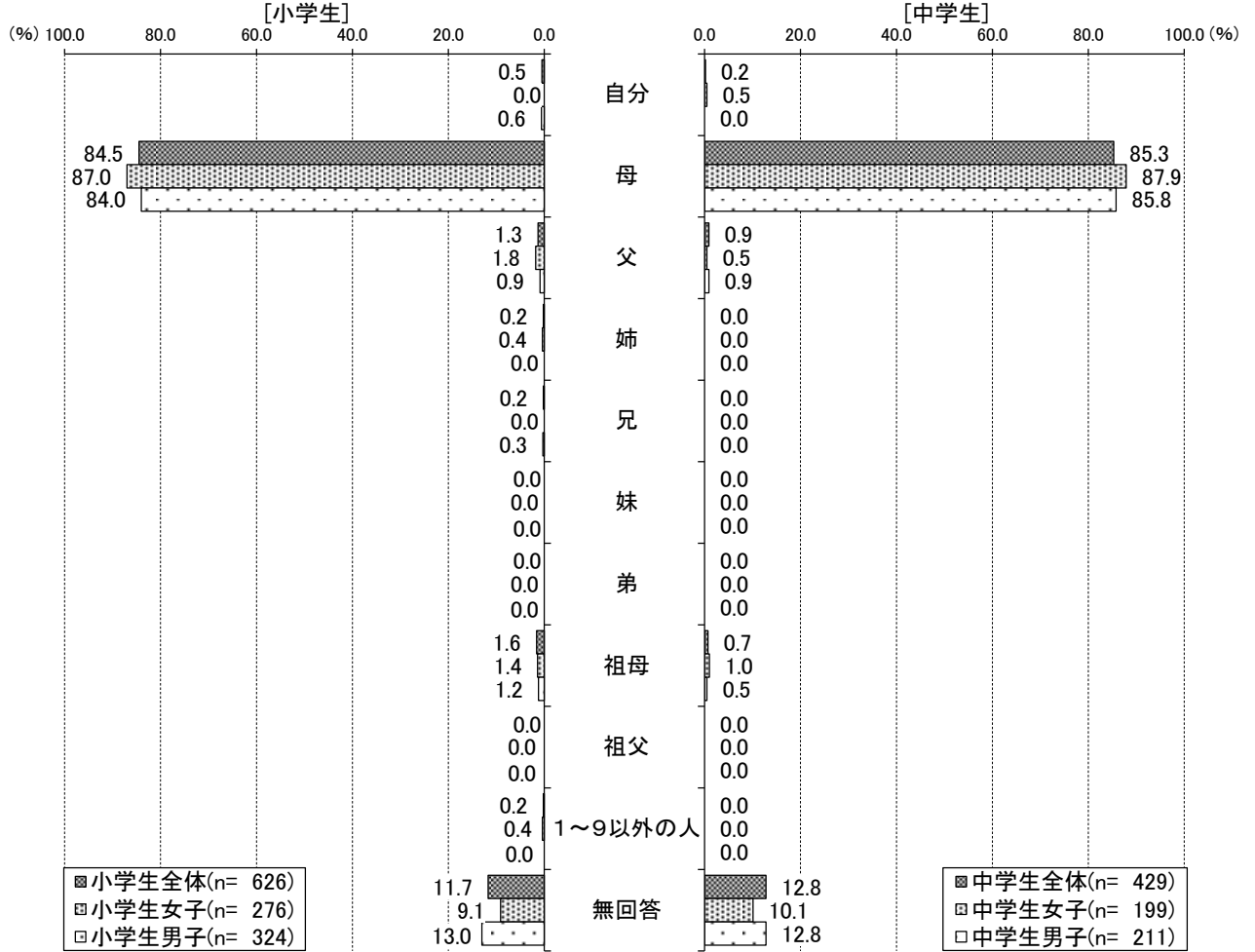
性別にみると、「自分」の割合は小学生では女子55.8%・男子41.4%で14.4ポイント差、中学生では女子32.2%・男子29.4%で2.8ポイント差となっており、小学生では性別による割合の違いが大きくなっている。

図 性別 家事をしている人(複数回答、一番している人を含む)



おもに家事をしている人は、「母」(小学生84.5%・中学生85.3%)が回答のほとんどを占めている。

図 性別 おもに家事をしている人(一番している人のみ)



(4) 手伝いの内容

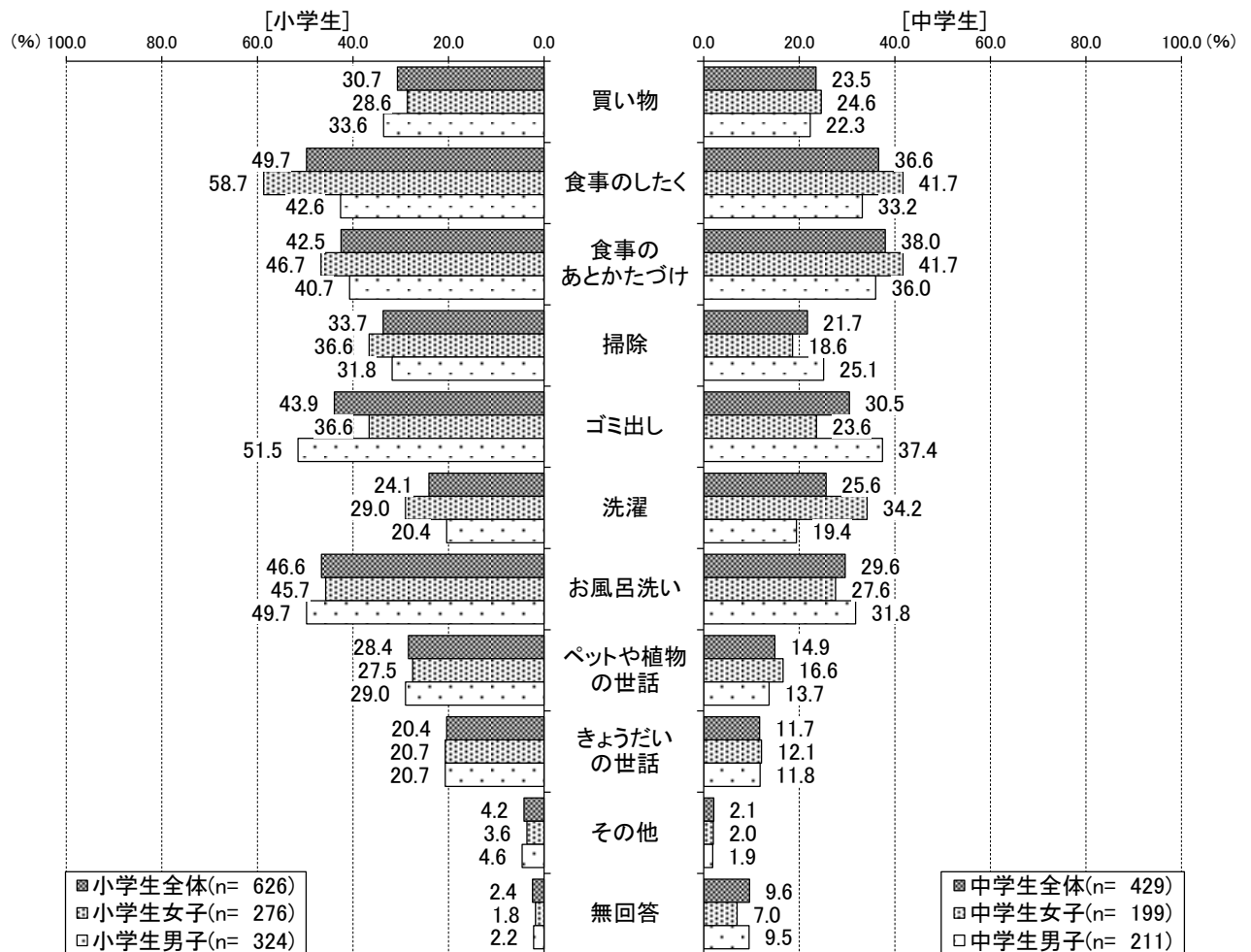
問4 あなたは、家でどのような手伝いをしていますか。(〇はいくつでも)

家で行っている手伝いの内容は、小学生は「食事のしたく」が49.7%で最も高く、次いで「お風呂洗い」が46.6%、「ゴミ出し」が43.9%、「食事のあとかたづけ」が42.5%となっている。中学生は、「食事のあとかたづけ」が38.0%で最も高く、次いで「食事のしたく」が36.6%、「ゴミ出し」が30.5%、「お風呂洗い」が29.6%となっている。

「洗濯」(小学生24.1%・中学生25.6%)以外の項目すべてで、中学生の割合は小学生よりも低くなっており、なかでも「お風呂洗い」は小学生46.6%・中学生29.6%で17.0ポイント差となっている。

性別にみると、「食事のしたく」と「洗濯」は女子、「ゴミ出し」は男子で割合が高くなっている。

図 性別 手伝いの内容

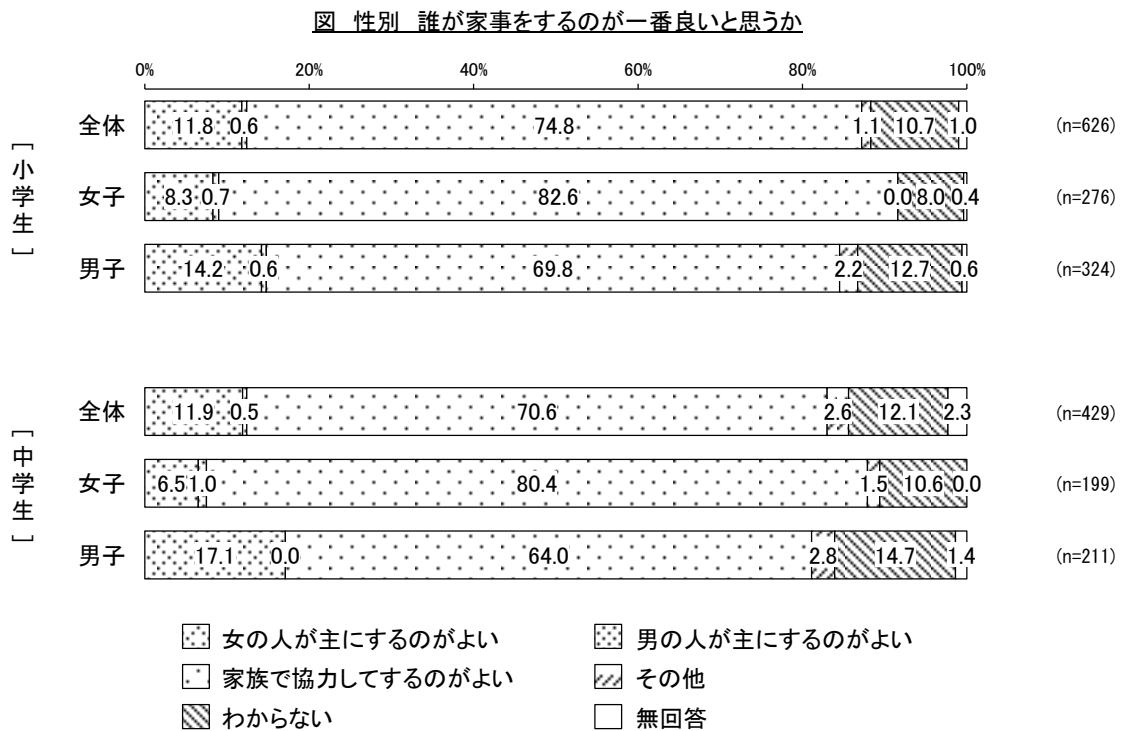


(5) 誰が家事をするのが一番良いと思うか

問5 あなたは、料理・掃除・洗濯などの家事は、誰がするのが一番よいと思いますか。(○は1つ)

料理・掃除・洗濯などの家事は誰がするのが一番よいと思うかについては、「家族で協力してするのがよい」が多くを占め、小学生74.8%・中学生70.6%となっている。

性別にみると、中学生の女子は小学生よりも「女の人が主にするのがよい」(小学生8.3%・中学生6.5%)の割合が低くなっているが、中学生の男子は小学生よりも「女の人が主にするのがよい」(小学生14.2%・中学生17.1%)の割合が高くなっている。



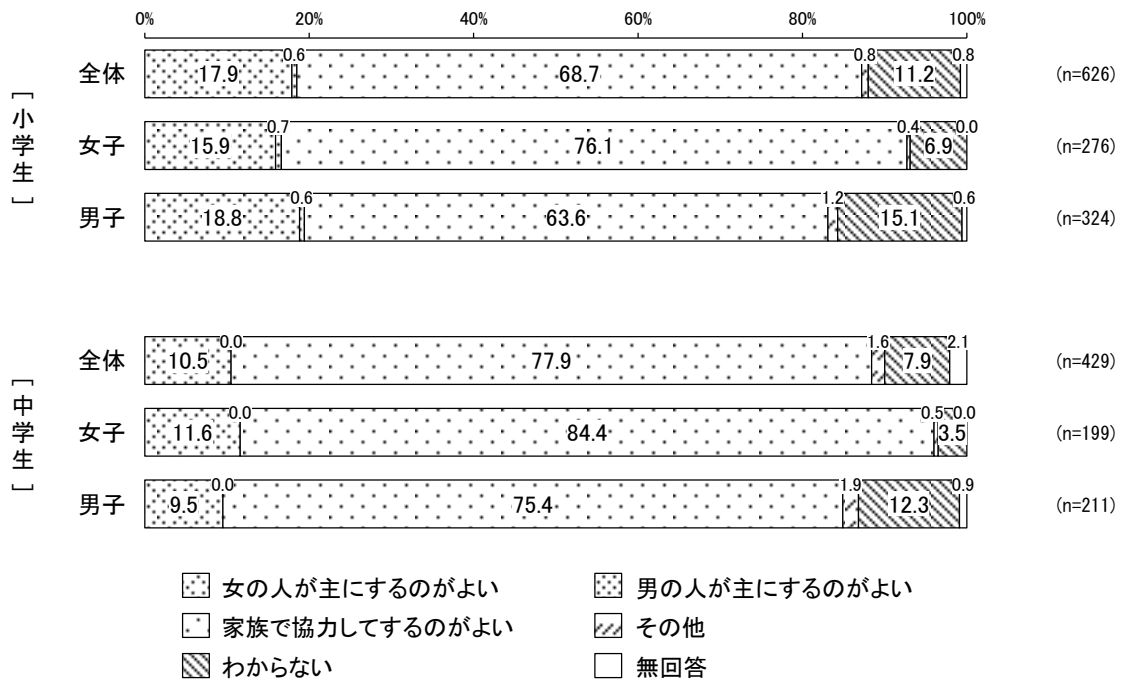
(6) 誰が子育てをするのが一番良いと思うか

問6 あなたは、子育ては、誰がするのが一番よいと思いますか。(○は1つ)

子育ては誰がするのが一番よいと思うかについては、「家族で協力してするのがよい」の割合が小学生68.7%・中学生77.9%と高く、また「家族で協力してするのがよい」の割合は中学生の方が小学生よりも約10ポイント高くなっている。

性別にみると、男子は女子と比べ「わからない」の割合が高い。

図 性別 誰が子育てをするのが一番良いと思うか

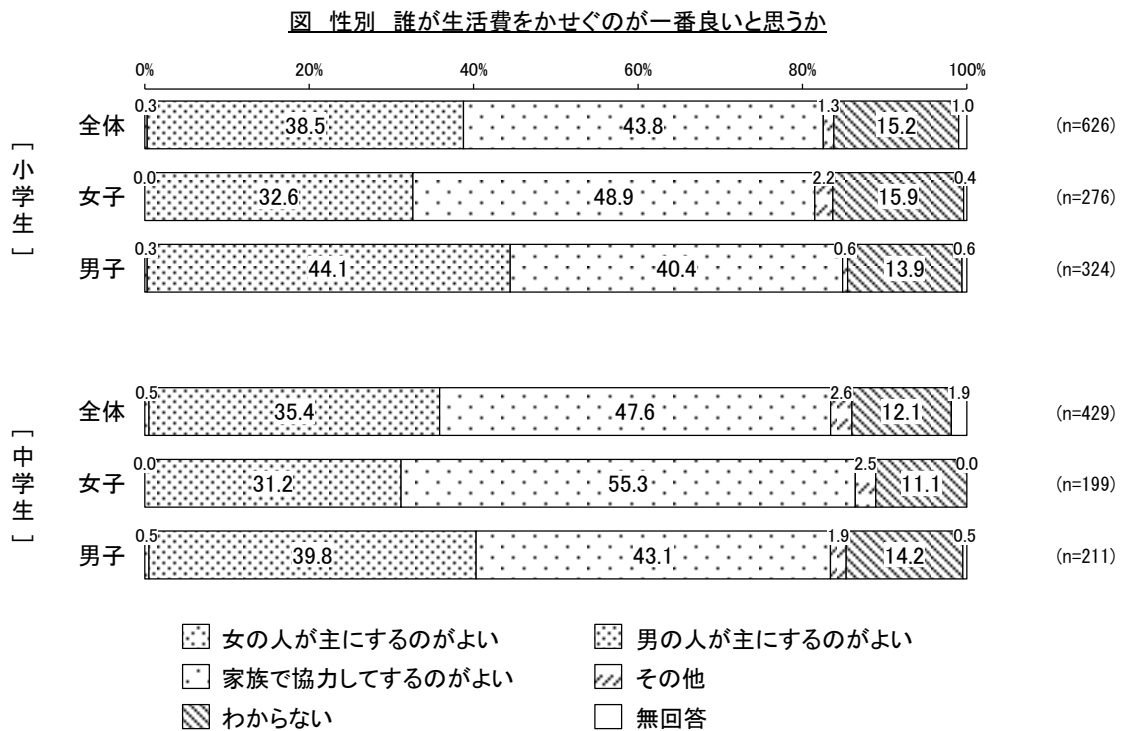


(7) 誰が生活費をかせぐのが一番良いと思うか

問7 あなたは、生活費をかせぐ仕事は、誰がするのが一番よいと思いますか。(○は1つ)

生活費をかせぐ仕事は誰がするのが一番よいと思うかについては、「家族で協力してするのがよい」が小学生43.8%・中学生47.6%、「男の人が主にするのがよい」が小学生38.5%・中学生35.4%となっている。

性別にみると、「男の人が主にするのがよい」の割合は女子よりも男子で、また、中学生よりも小学生で高くなっており、小学生男子では「男の人が主にするのがよい」の割合が「家族で協力してするのがよい」よりも高くなっている。



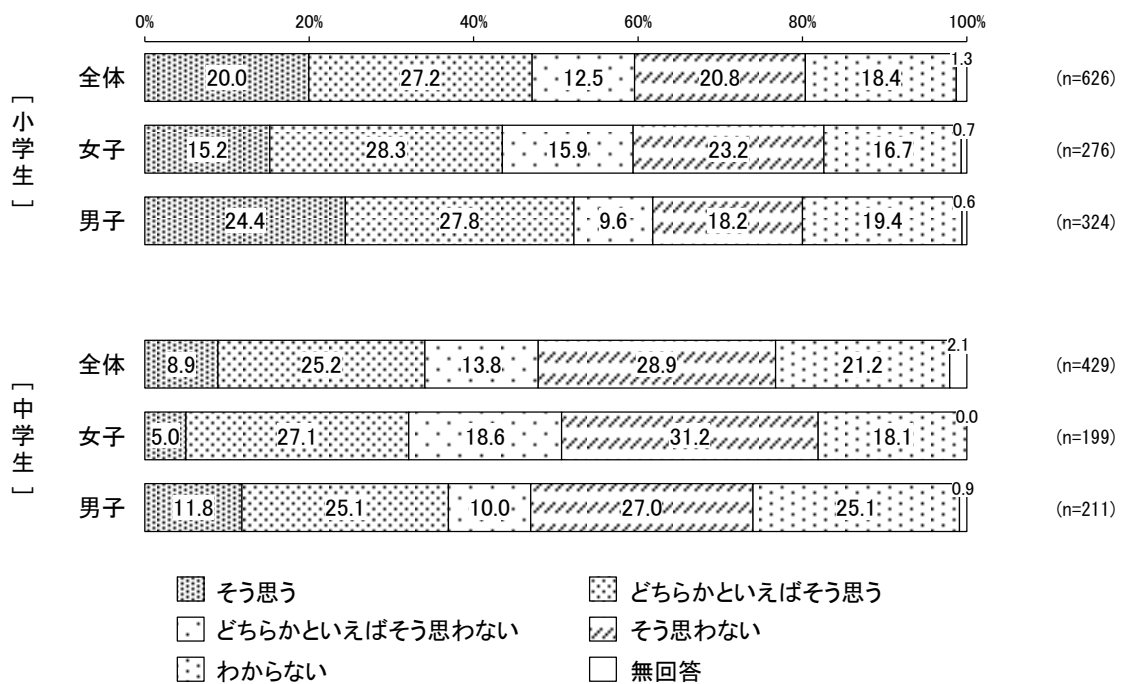
(8) 性別役割分担意識

問8 「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方があります。この考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方についてどう思うかは、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が小学生47.2%・中学生34.1%、『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計)が小学生33.3%・中学生42.7%となっており、小学生では『そう思う』、中学生では『そう思わない』の割合が高くなっている。

性別にみると、男子は女子よりも『そう思う』の割合が高くなっており、小学生の男子では『そう思う』が52.2%と高い。

図 性別 性別役割分担意識



(9) 保護者から言われていること

問9 あなたは、次のようなことを、保護者の方から言われていますか。(○はそれぞれ1つ)

保護者から言われていることについては、小学生では「(2)自分の進路は自分で決めるようにと言われる」、中学生では「(1)いっしょうけんめい勉強するようにと言われる」で、『言われる』(「よく言われる」と「時々言われる」の合計)の割合が高くなっている。対して「(5)女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくしなさいと言われる」は小学生・中学生ともに『言われない』(「あまり言われない」と「全く言われない」の合計)の割合が高い。

「(1)いっしょうけんめい勉強するようにと言われる」については、中学生で『言われる』が女子75.9%・男子82.0%と高くなっている。性別にみると、女子よりも男子で『言われる』の割合が高くなっている。

「(2)自分の進路は自分で決めるようにと言われる」については、小学生で『言われる』の割合が高く女子81.1%・男子81.8%となっている。性別にみると、小学生の男子では「よく言われる」が49.1%と高い。

「(3)家の手伝いをしなさいと言われる」については、小学生では『言われない』が女子54.7%・男子60.2%、中学生では『言われる』が女子66.4%・男子58.3%を占めており、小学生と中学生との違いが大きくなっている。性別にみると、男子よりも女子で『言われる』の割合が高くなっている。

「(4)どんな時でも暴力をふるうことはいけないと言われる」については、『言われる』が小学生では女子63.4%・男子63.6%、中学生では女子57.8%・男子61.1%となっており、小学生と中学生の違いが他の項目に比べ小さくなっている。

「(5)女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくしなさいと言われる」については、『言われない』がいずれの層でも6割以上を占めている。『言われる』の割合については小学生では女子33.3%・男子22.2%、中学生では女子39.7%・男子27.0%となっており、男子よりも女子で、また、小学生よりも中学生で割合が高くなっている。

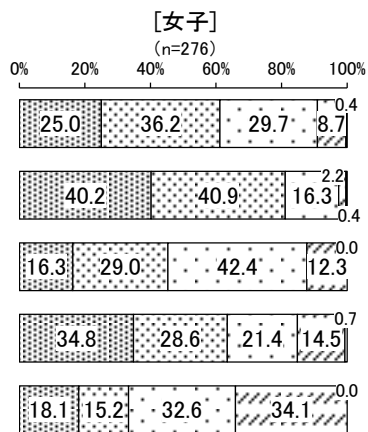
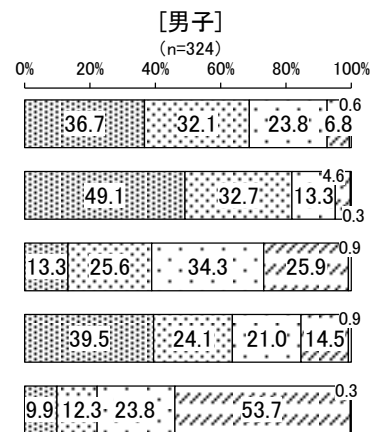


図 性別 保護者から言われていること(小学生)



よく言われる 時々言われる あまり言われたい 全く言われたい 無回答

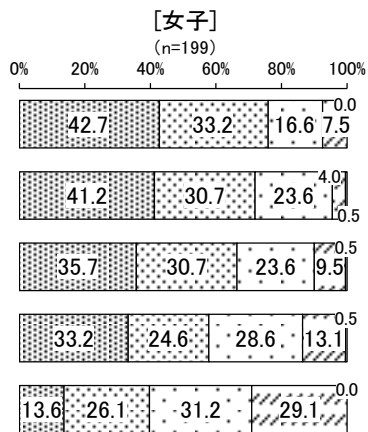
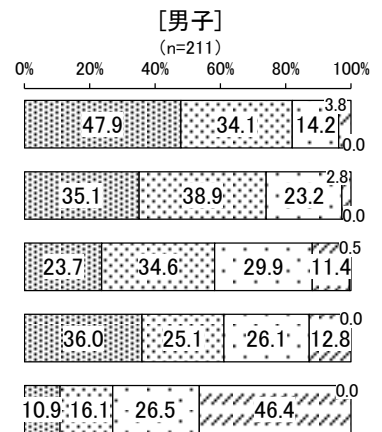


図 性別 保護者から言われていること(中学生)



よく言われる 時々言われる あまり言われたい 全く言われたい 無回答

(10) 学校生活で感じること

問10 学校での生活について聞きます。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

学校生活で感じることについては、小学生の女子では「授業で手をあげたり話し合いで発言するのは男子が多い」、男子では「授業で手をあげたり話し合いで発言するのは男子が多い」「いろいろな場面で女子の方が甘やかされている」「いろいろな場面で男子の方が大事な役をすることが多い」の3つで『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が約5割となっている。中学生は、「部活動の参加について、性別によって入部できない部がある」が女子・男子の両方で『そう思う』が約4割と高くなっている。また、中学生の男子では「いろいろな場面で女子の方が甘やかされている」も約4割となっている。

中学生にのみ質問した「進路指導などで、女子の進路、男子の進路と区別されているような感じがする」については、『そう思う』は女子6.5%・男子15.2%と低く、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）が女子93.4%・男子83.4%と高くなっている。性別にみると、男子の方がやや『そう思う』の割合が高くなっている。

「何かにつけて男子が先、女子が後にされている」については、『そう思わない』が小学生では女子79.8%・男子76.8%、中学生では女子91.4%・男子89.1%となっており、小学生・中学生ともに『そう思わない』が多くを占め、また、中学生でより割合が高くなっている。

「授業で手をあげたり話し合いで発言するのは男子が多い」については、『そう思う』が小学生では女子50.7%・男子47.2%、中学生では女子36.7%・男子29.4%となっており、中学生よりも小学生で割合が高くなっている。

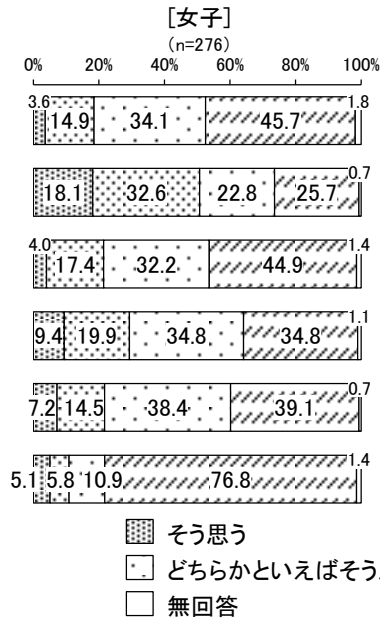
「いろいろな場面で女子の方が甘やかされている」については、『そう思う』が小学生では女子21.4%・男子45.1%（23.7ポイント差）、中学生では女子28.1%・男子44.5%（16.4ポイント差）と性別による意識の違いが大きくなっている。

「いろいろな場面で男子の方が大事な役をすることが多い」については、小学生の男子では『そう思う』が46.0%となっており、小学生の女子（29.3%）よりも、16.7ポイント高くなっている。中学生については、女子・男子ともに『そう思う』が3割弱となっており性別による意識の違いは小さい。

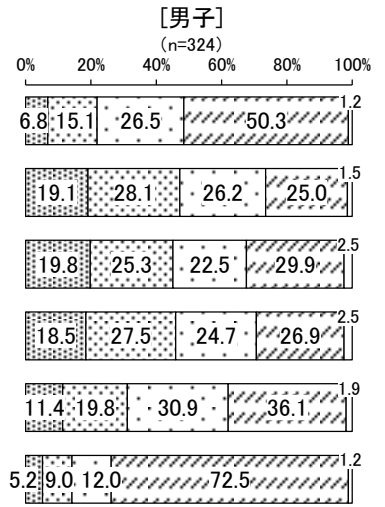
「学級委員長や生徒会長は男子に向いている」（小学生調査では「代表委員や児童会役員は男子の方が向いている」）については、『そう思う』が小学生では女子21.7%・男子31.2%で、男子の方が9.5ポイント高い。中学生では『そう思う』は女子14.1%・男子12.8%にとどまり、『そう思わない』が女子・男子ともに8割以上を占めている。

「部活動の参加について、性別によって入部できない部がある」（小学生調査では「クラブ活動の参加について、性別により入れないクラブがある」）については、小学生では『そう思わない』が女子87.7%・男子84.5%を占め高くなっているが、中学生では、『そう思わない』が女子62.8%・男子57.8%にとどまり、『そう思う』が女子37.2%・男子40.3%となっている。

図 性別 学校生活で感じること(小学生)

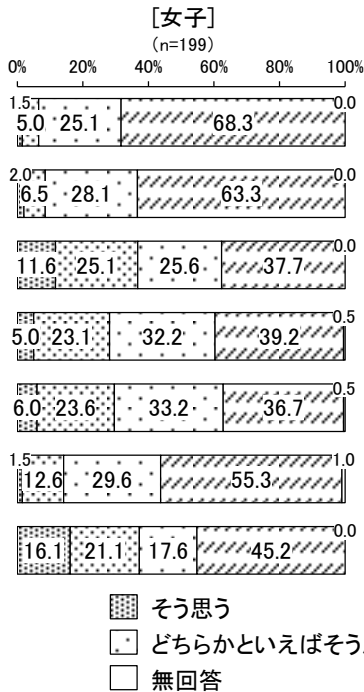


- (1)何かにつけて男子が先、女子が後にされている
- (2)授業で手をあげたり話し合いで発言するのは男子が多い
- (3)いろいろな場面で女子の方が甘やかされている
- (4)いろいろな場面で男子の方が大事な役をすることが多い
- (5)代表委員や児童会役員は男子の方が向いている
- (6)クラブ活動の参加について、性別により入れないクラブがある

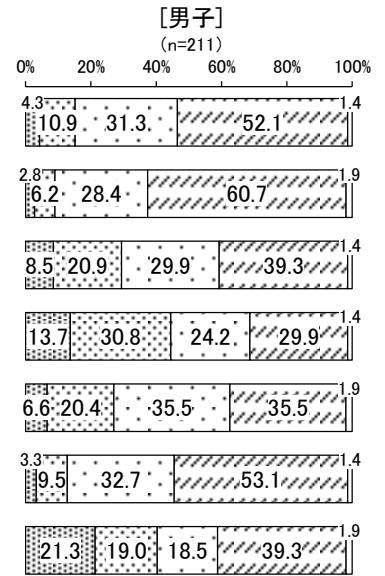


- そう思う
- ▒ どちらかといえばそう思う
- ░ どちらかといえばそう思わない
- 無回答

図 性別 学校生活で感じること(中学生)



- (1)進路指導などで、女子の進路、男子の進路と区別されているような感じがする
- (2)何かにつけて男子が先、女子が後にされている
- (3)授業で手をあげたり話し合いで発言するのは男子が多い
- (4)いろいろな場面で女子の方が甘やかされている
- (5)いろいろな場面で男子の方が大事な役をすることが多い
- (6)学級委員長や生徒会長は男子に向いている
- (7)部活動の参加について、性別によって入部できない部がある



- そう思う
- ▒ どちらかといえばそう思う
- ░ どちらかといえばそう思わない
- 無回答

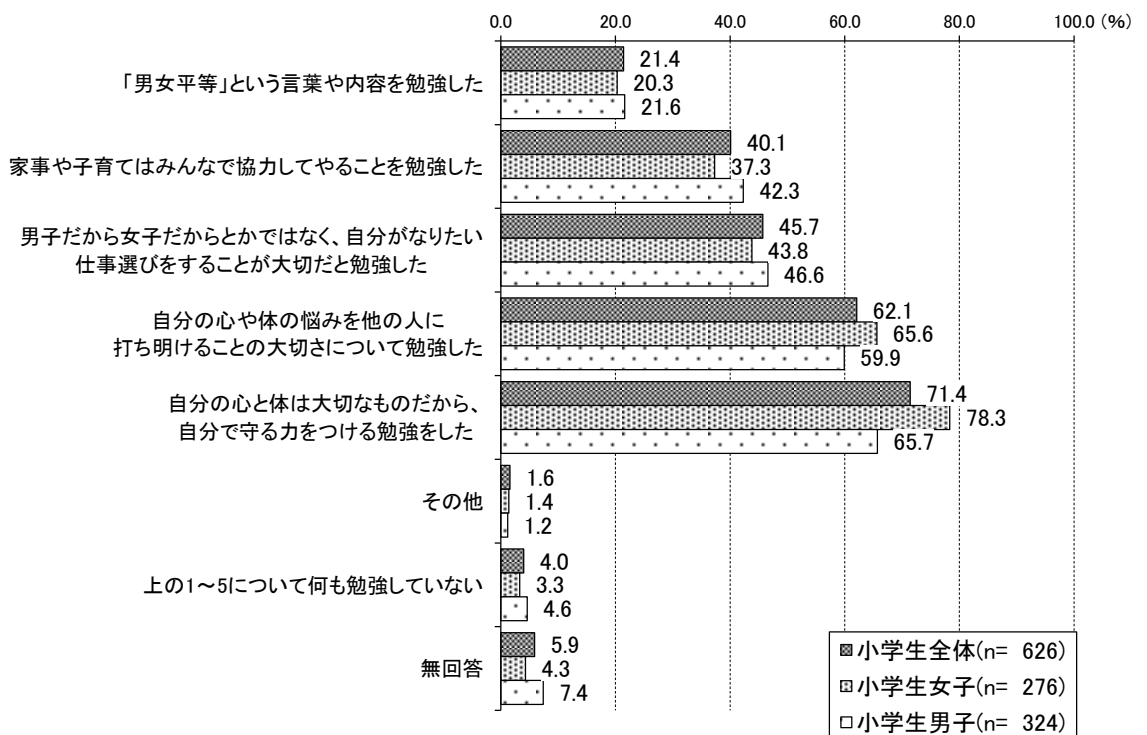
(11) 学校で勉強した内容

問11 あなたは、学校で、次のようなことを勉強をしましたか。(○はいくつでも)

小学生が学校で勉強した内容については、「自分の心と体は大切なものだから、自分で守る力をつける勉強をした」が71.4%で最も高く、次いで「自分の心や体の悩みを他の人に打ち明けることの大切さについて勉強した」が62.1%、「男子だから女子だからとかではなく、自分がなりたい仕事選びをすることが大切だと勉強した」が45.7%となっている。

性別にみると、「自分の心と体は大切なものだから、自分で守る力をつける勉強をした」と「自分の心や体の悩みを他の人に打ち明けることの大切さについて勉強した」はいずれも男子よりも女子で割合が高くなっている。

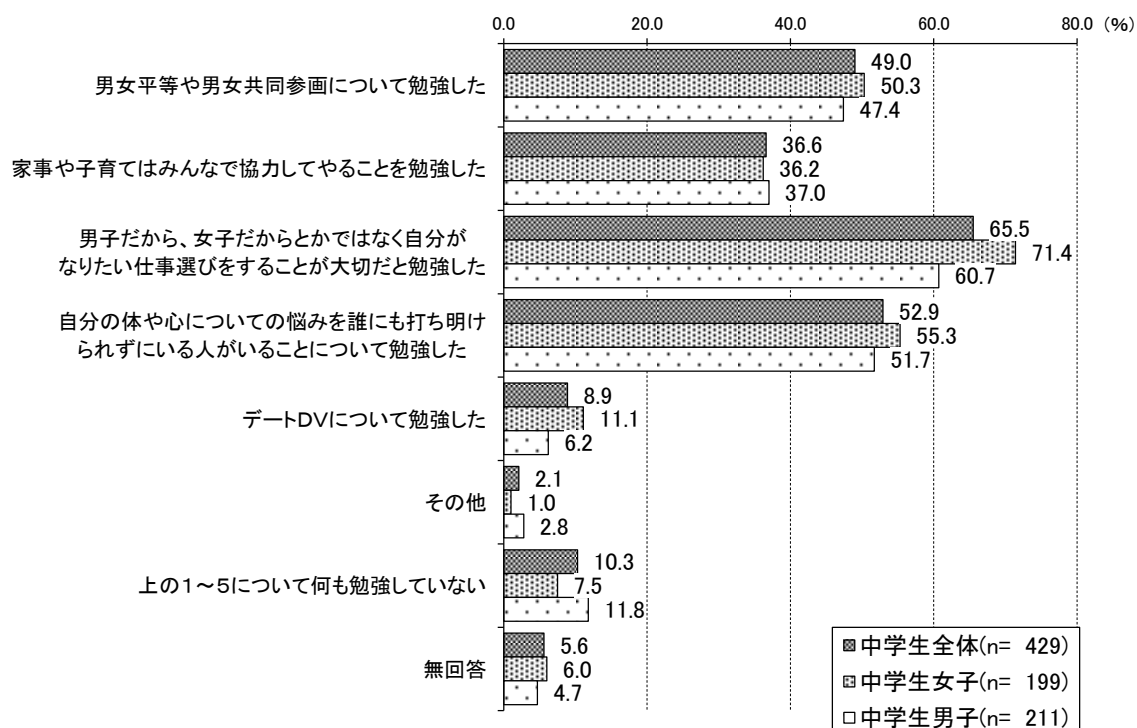
図 性別 学校で勉強した内容(小学生)



中学生が中学校で勉強したことについては、「男子だから、女子だからとかではなく自分がなりたい仕事選びをすることが大切だと勉強した」が65.5%で最も高く、次いで「自分の体や心についての悩みを誰にも打ち明けられずにいる人がいることについて勉強した」が52.9%、「男女平等や男女共同参画について勉強した」が49.0%となっている。

性別にみると、「男子だから、女子だからとかではなく自分がなりたい仕事選びをすることが大切だと勉強した」は女子71.4%・男子60.7%で女子の方が男子よりも10.7ポイント高くなっている。

図 性別 学校で勉強した内容(中学生)



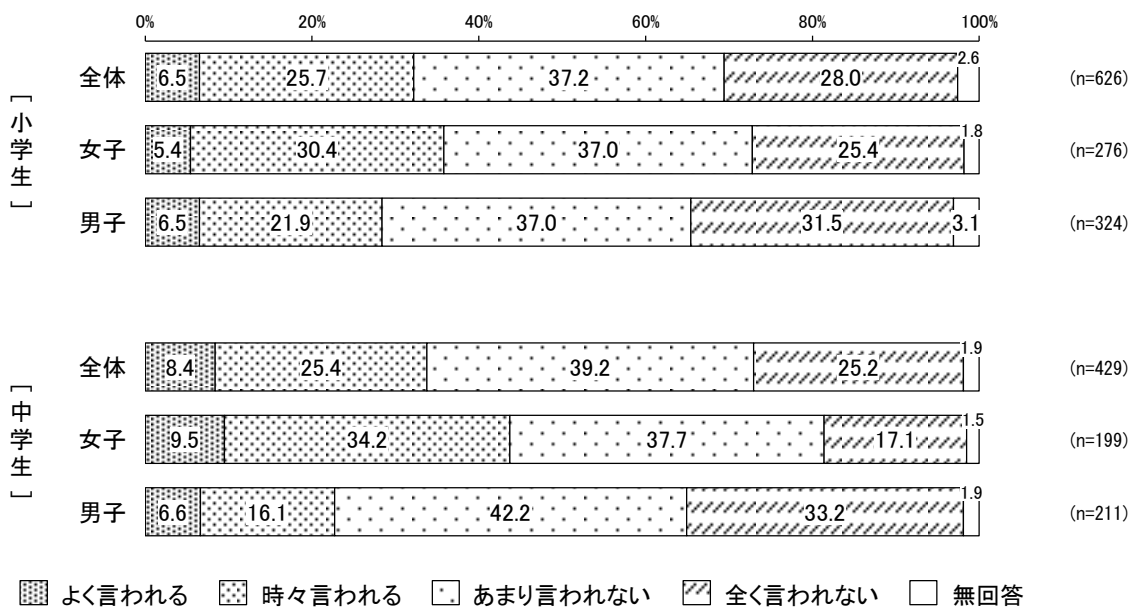
(12)「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた経験の有無

問12 あなたは「男だから〇〇」や「女だから〇〇」のように言われたことがありますか。(〇は1つ)

「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた経験の有無については、『言われる』(「よく言われる」と「時々言われる」の合計)が小学生で32.2%・中学生33.8%、『言われない』(「あまり言われない」と「全く言われない」の合計)が小学生65.2%・中学生64.4%となっており、小学生・中学生ともに『言われない』の割合が『言われる』よりも高くなっている。

性別にみると、小学生の『言われる』は女子35.8%・男子28.4%で7.4ポイント差、中学生の『言われる』は女子43.7%・男子22.7%で21.0ポイント差となっており、小学生・中学生ともに女子の方が『言われる』の割合が高く、またその差が小学生よりも中学生でより大きくなっている。

図 性別「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた経験の有無



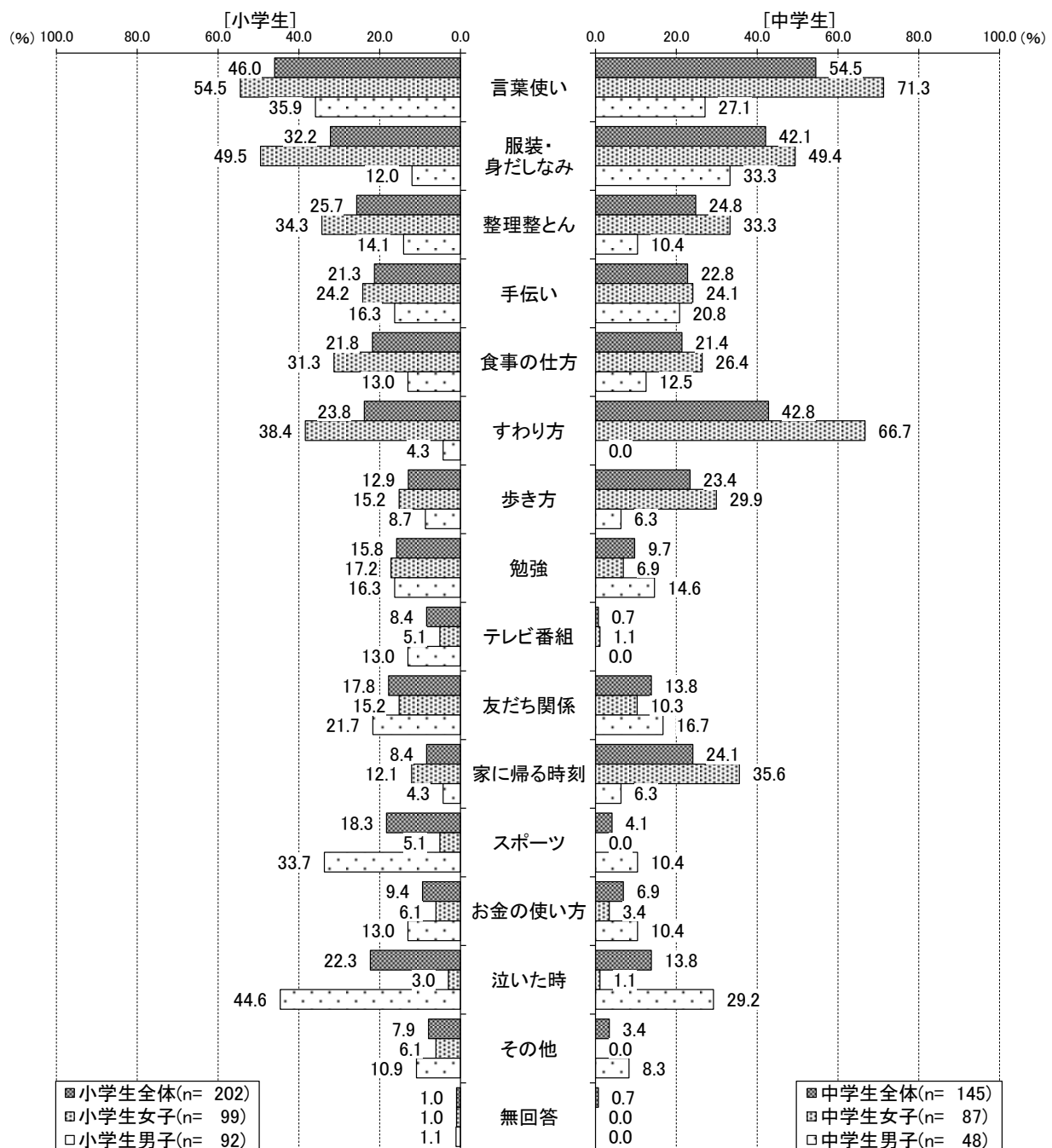
(13)「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた原因

問12-1 どんなことで言われましたか。(〇はいくつでも)

「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた原因は、小学生の女子では「言葉使い」が54.5%で最も高く、次いで「服装・身だしなみ」が49.5%、「すわり方」が38.4%となっている。中学生の女子では「言葉使い」が71.3%で最も高く、これに次いで「すわり方」が66.7%、「服装・身だしなみ」が49.4%となっている。また、中学生の女子では「家に帰る時刻」(35.6%)が他の層と比べて高くなっている。

小学生の男子は、「泣いた時」が44.6%で最も高く、次いで「言葉使い」が35.9%、「スポーツ」が33.7%となっている。中学生の男子は、「服装・身だしなみ」が33.3%で最も高く、次いで「泣いた時」が29.2%、「言葉使い」が27.1%となっている。

図 性別「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた原因

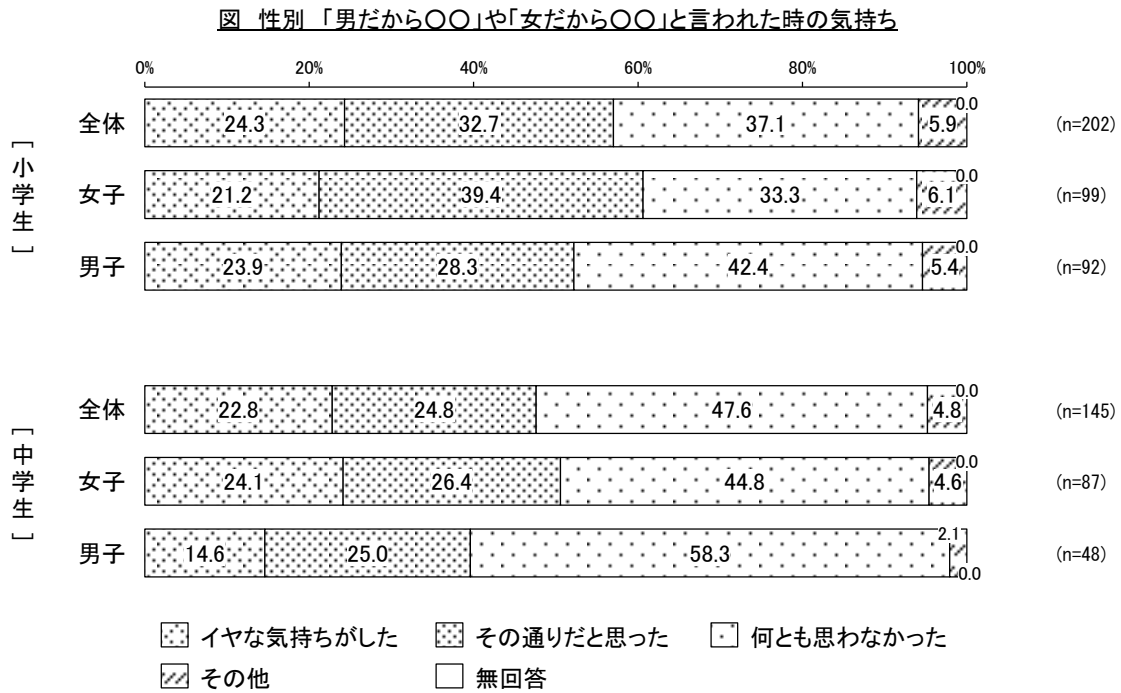


(14)「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた時の気持ち

問12-2 あなたは言われた時、どんな気持ちでしたか。(〇は1つ)

「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた時の気持ちは「何とも思わなかった」が小学生37.1%・中学生47.6%、「その通りだと思った」が小学生32.7%・中学生24.8%、「イヤな気持ちがあった」が小学生24.3%・中学生22.8%となっており、中学生は小学生よりも「何とも思わなかった」、小学生は中学生よりも「その通りだと思った」の割合が高くなっている。

性別にみると、小学生・中学生ともに男子は女子よりも「何とも思わなかった」の割合が高くなっている。



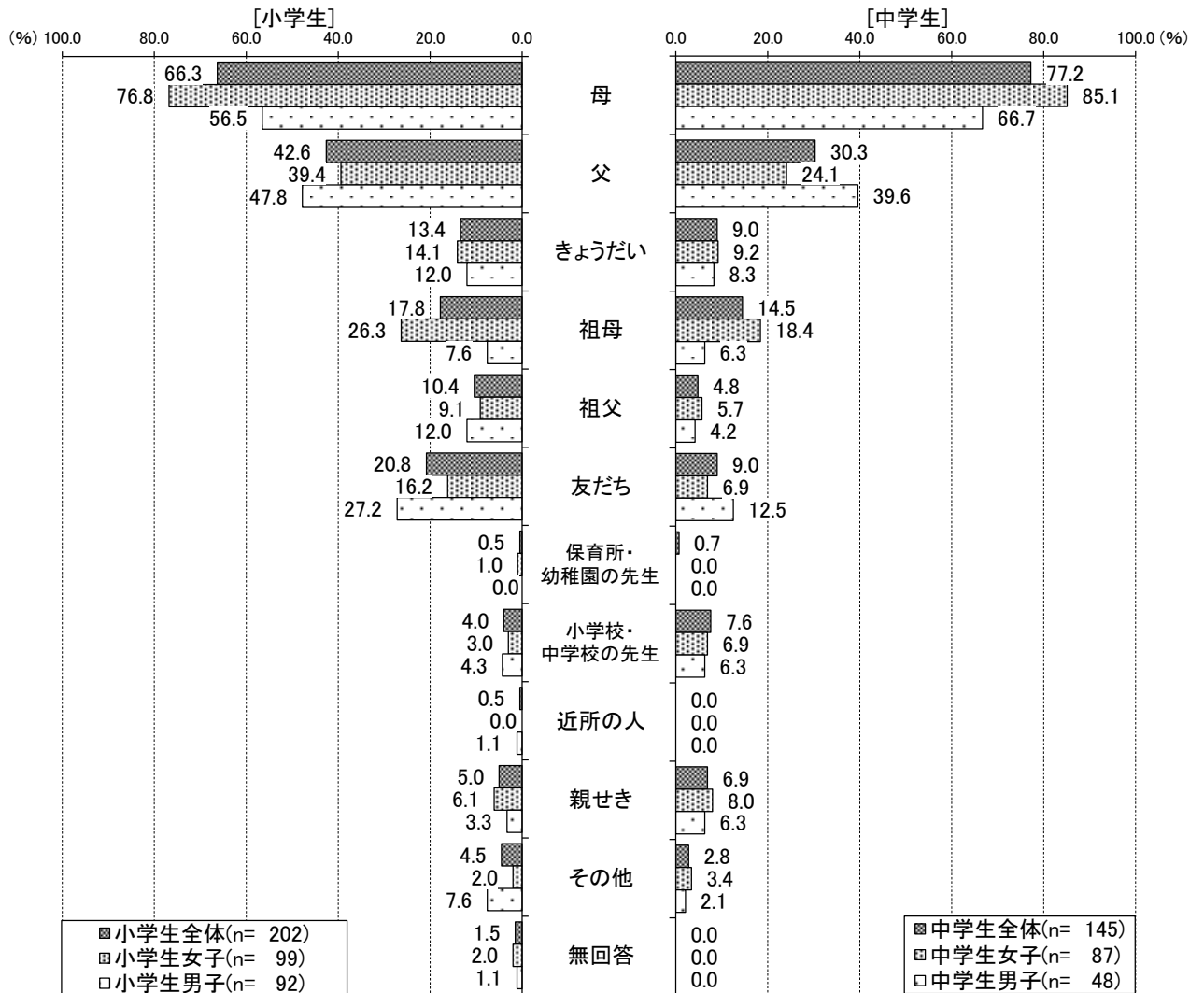
(15)「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言った相手

問12-3 それは誰に言われましたか。(〇はいくつでも)

「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言った相手については、「母」(小学生66.3%・中学生77.2%)が最も高く、次いで「父」(小学生42.6%・中学生30.3%)となっている。

性別にみると、「母」の割合は女子で高く小学生76.8%・中学生85.1%となっている。「父」と「友だち」は男子で高く、「父」は小学生47.8%・中学生39.6%、「友だち」は小学生27.2%・中学生12.5%となっている。

図 性別 「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言った相手



(16) 将来なりたい仕事

問13 あなたは、将来どのような仕事につきたいと思いますか。(〇は3つまで)

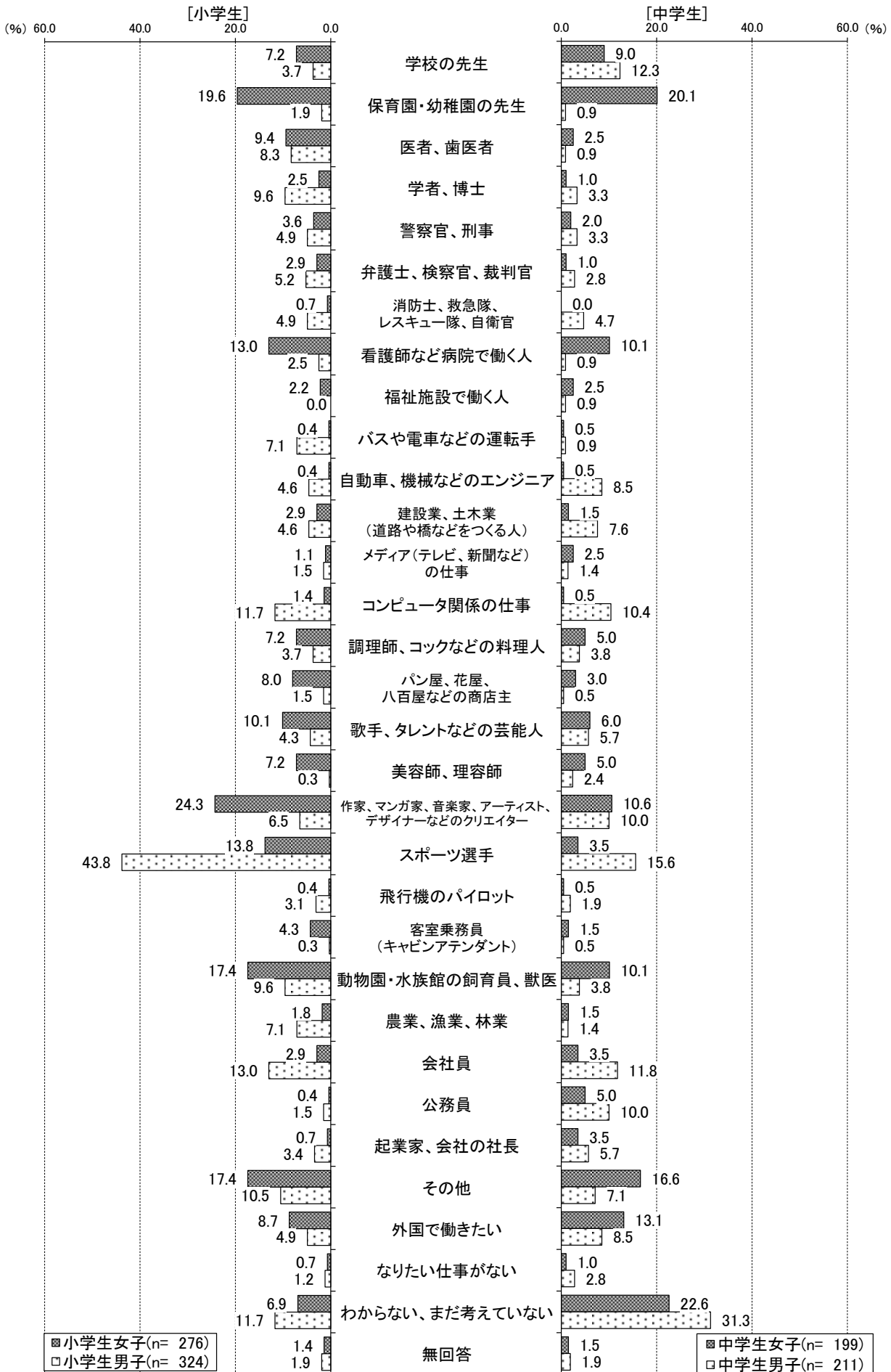
将来なりたい職業は、小学生の女子は「作家、マンガ家、音楽家、アーティスト、デザイナーなどのクリエイター」が24.3%で最も高く、次いで「保育園・幼稚園の先生」が19.6%、「動物園・水族館の飼育員、獣医」と「その他」がともに17.4%となっている。小学生の男子は「スポーツ選手」が43.8%と特に高く、次いで「会社員」が13.0%、「コンピュータ関係の仕事」と「わからない、まだ考えていない」がともに11.7%となっている。

中学生は、「わからない、まだ考えていない」が女子・男子ともに最も高くそれぞれ22.6%・31.3%となっている。具体的な職業としては、女子は「保育園・幼稚園の先生」が20.1%で最も高く、次いで「その他」が16.6%、「外国で働きたい」が13.1%、男子は「スポーツ選手」が15.6%で最も高く、次いで「学校の先生」が12.3%、「会社員」が11.8%となっている。

女子は男子よりも「保育園・幼稚園の先生」「看護師など病院で働く人」「動物園・水族館の飼育員、獣医」などの項目、男子は女子よりも「スポーツ選手」「コンピュータ関係の仕事」「会社員」などの項目の割合が、小学生・中学生ともに高くなっている。「作家、マンガ家、音楽家、アーティスト、デザイナーなどのクリエイター」は小学生では女子24.3%・男子6.5%と性別による意識の違いが大きいですが、中学生では性別による違いがみられない。

中学生を小学生と比べると、「スポーツ選手」「医者、歯医者」「動物園・水族館の飼育員、獣医」などの割合が低く、反対に「わからない、まだ考えていない」「公務員」「学校の先生」などの割合が高くなっている。「作家、マンガ家、音楽家、アーティスト、デザイナーなどのクリエイター」は、女子では小学生24.3%・中学生10.6%と中学生が13.7ポイント低くなっているが、男子は小学生6.5%・中学生10.0%と中学生の方が高くなっている。

図 性別 将来なりたい仕事



(17) 職業を選ぶ上で重視する事

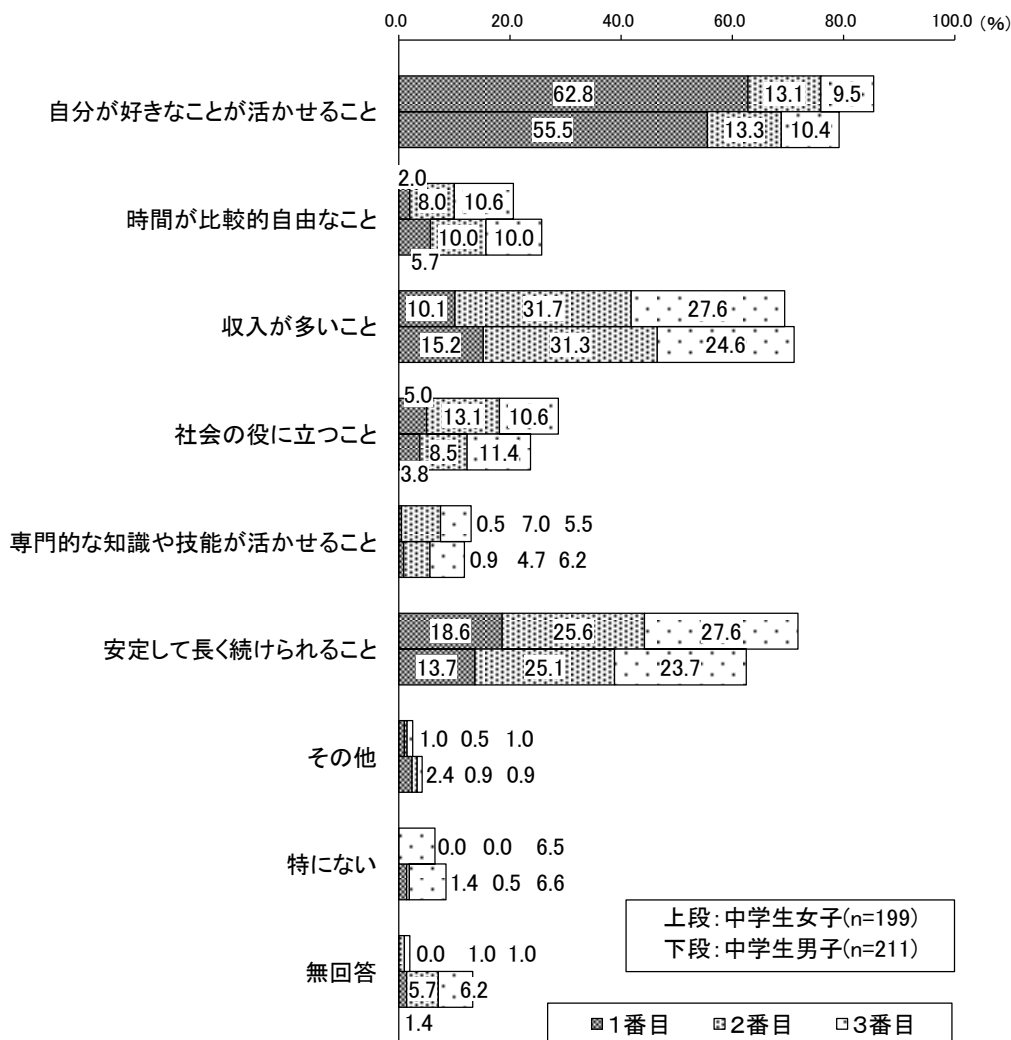
《中学生調査のみ》

問14 あなたは、職業を選ぶとしたら何を重視しますか。1番から3番まで選んで下の口に番号を入れてください。

職業を選ぶ上で1番重視する事は、「自分が好きなことが活かせること」が女子62.8%・男子55.5%で最も高く、これに次いで、女子では「安定して長く続けられること」(18.6%)、「収入が多いこと」(10.1%)、男子では、「収入が多いこと」(15.2%)、「安定して長く続けられること」(13.7%)の順で高くなっている。

1番目から3番目を合計した割合は、「自分が好きなことが活かせること」「収入が多いこと」「安定して長く続けられること」の3項目の割合が高くなっている。

図 性別 職業を選ぶ上で重視する事

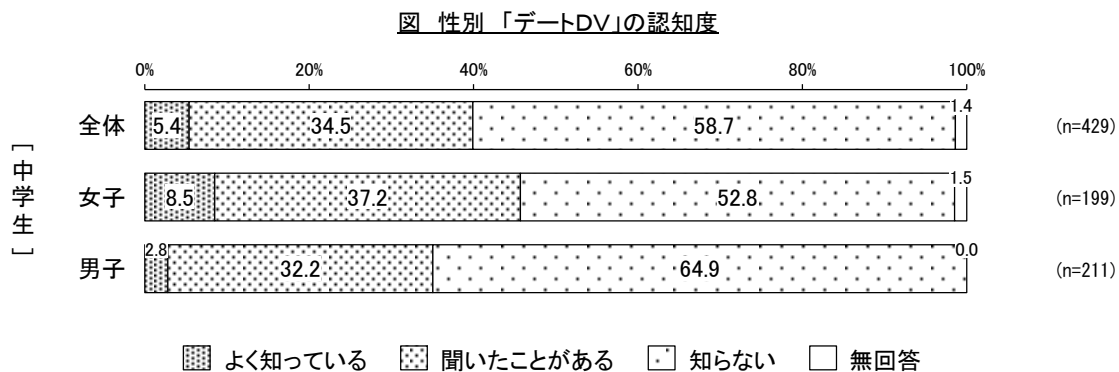


(18)「デートDV」の認知度

《中学生調査のみ》

問15 あなたは「デートDV」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「デートDV」という言葉の認知度については、「よく知っている」が女子8.5%・男子2.8%、「聞いたことがある」が女子37.2%・男子32.2%、「知らない」が女子52.8%・男子64.9%となっており、男子よりも女子で認知度が高くなっている。



(19) 交際関係について変だと思うこと

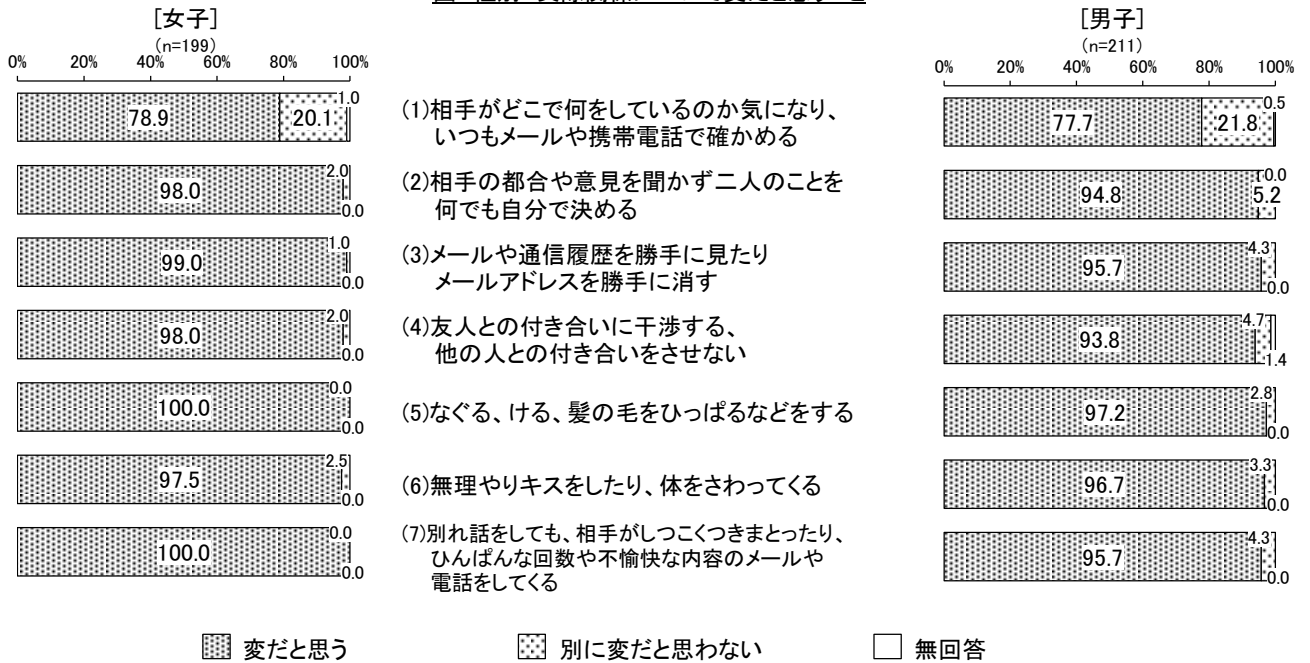
《中学生調査のみ》

問16 あなたは、(1)から(7)のような交際関係についてどう思いますか。それぞれどちらか1つに○をつけてください。

交際関係について変だと思うことについては、「(1)相手がどこで何をしているのか気になり、いつもメールや携帯電話で確かめる」では、「変だと思う」が女子78.9%・男子77.7%、「別に变だと思わない」が女子20.1%・男子21.8%となっており、他の項目と比べると「別に变だと思わない」の割合が高くなっている。

そのほかの項目についてはいずれも「変だと思う」の割合が93.8%～100.0%と極めて高くなっているが、男子では「(2)相手の都合や意見を聞かず二人のことを何でも自分で決める」「(3)メールや通信履歴を勝手に見たりメールアドレスを勝手に消す」「(4)友人との付き合いに干渉する、他の人との付き合いをさせない」について「別に变だと思わない」が約5%となっている。

図 性別 交際関係について変だと思うこと



(20) 性についての悩み(体のことなど)の相談相手

《中学生調査のみ》

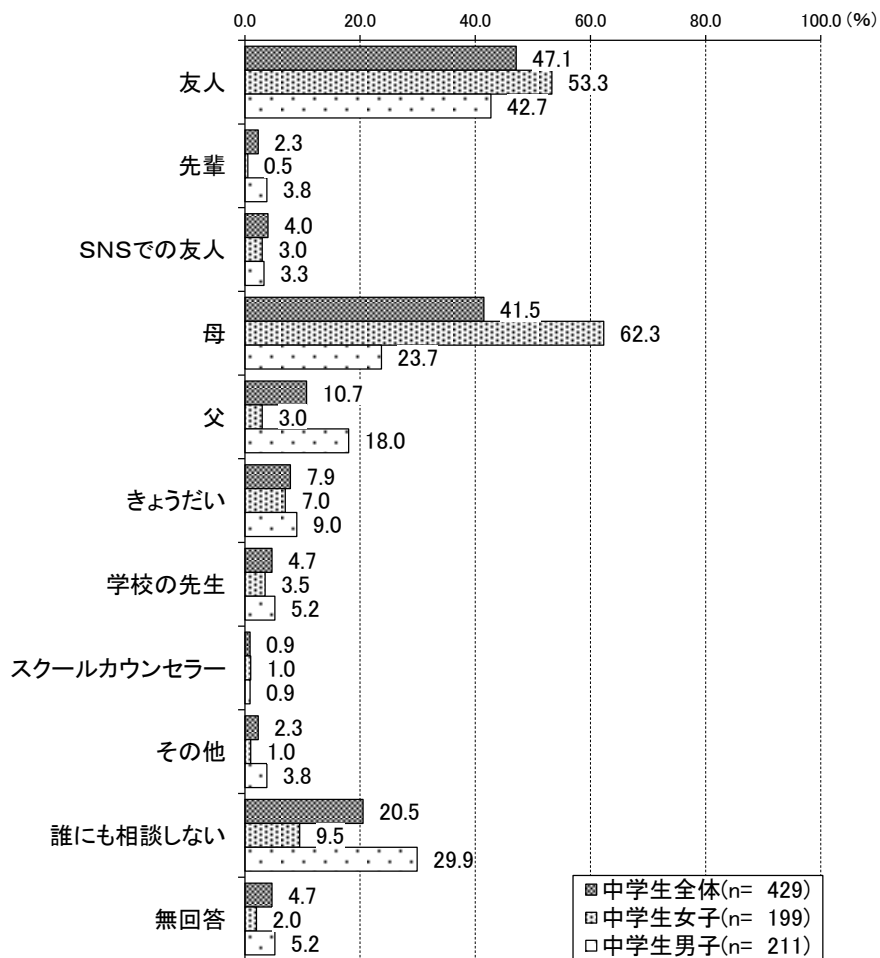
問17 性についての悩み(体のことなど)を相談できる身近な人は次の誰ですか。(〇はいくつでも)

性についての悩み(体のことなど)を相談できる身近な人は、女子は「母」の割合が62.3%で高く、次いで「友人」が53.3%、「きょうだい」が7.0%となっている。

男子は、「友人」が42.7%で最も高く、次いで「母」が23.7%、「父」が18.0%となっている。

「誰にも相談しない」は女子9.5%・男子29.9%となっており、男子の方が20.4ポイント高い。

図 性別 性についての悩み(体のことなど)の相談相手

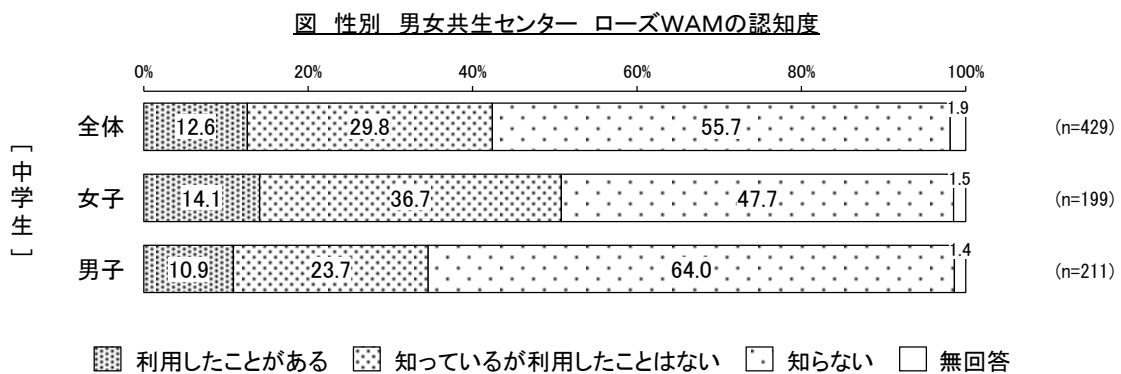


(21)ローズWAMの認知度

《中学生調査のみ》

問18 男女共生センター ローズWAMのことを知っていますか。(○は1つ)

ローズWAMの認知度については、「利用したことがある」が女子14.1%・男子10.9%、「知っているが利用したことはない」が女子36.7%・男子23.7%、「知らない」が女子47.7%・男子64.0%となっている。「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合計した割合は女子50.8%・男子34.6%となっており、女子の方が16.2ポイント知っている割合が高くなっている。



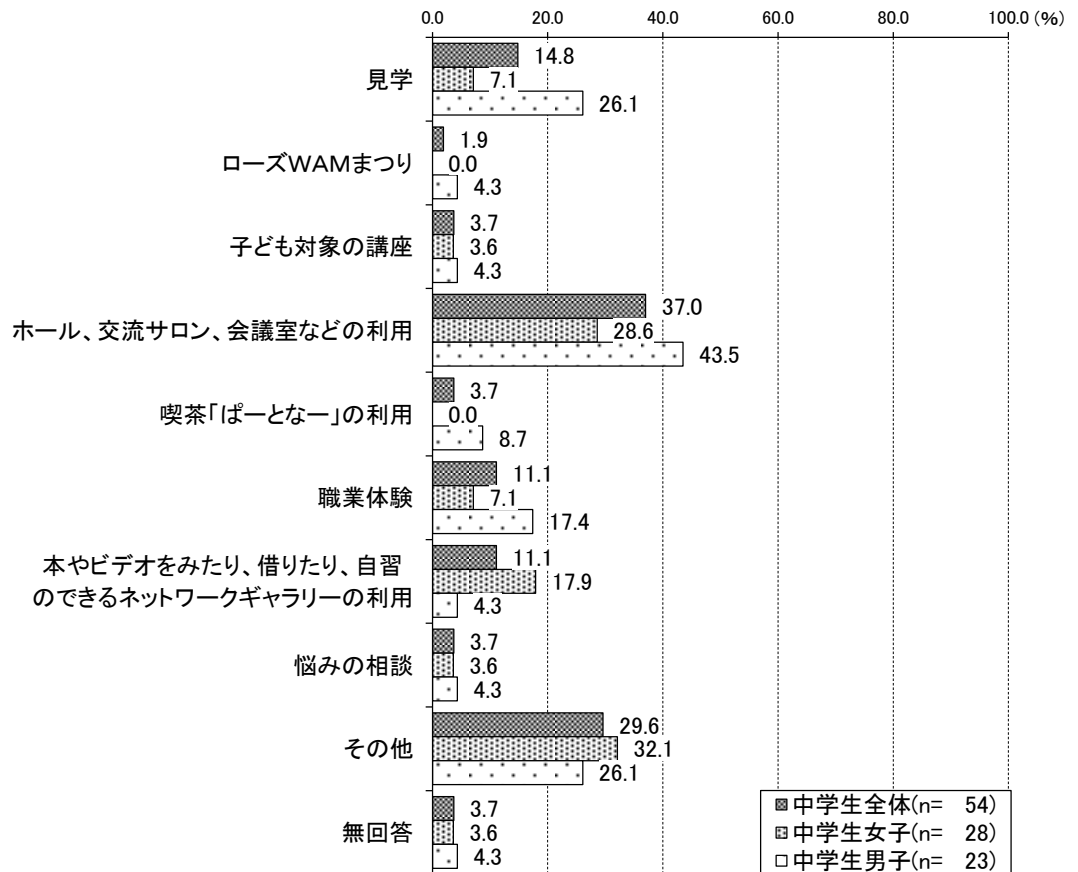
(22)ローズWAMの利用内容

《中学生調査のみ》

問18-1 どんなことで利用しましたか。(〇はいくつでも)

ローズWAMの利用内容は「ホール、交流サロン、会議室などの利用」が女子28.6%・男子43.5%で最も高く、次いで「その他」が女子32.1%・男子26.1%、「見学」が女子7.1%・男子26.1%となっている。

図 性別 男女共生センター ローズWAMの利用内容

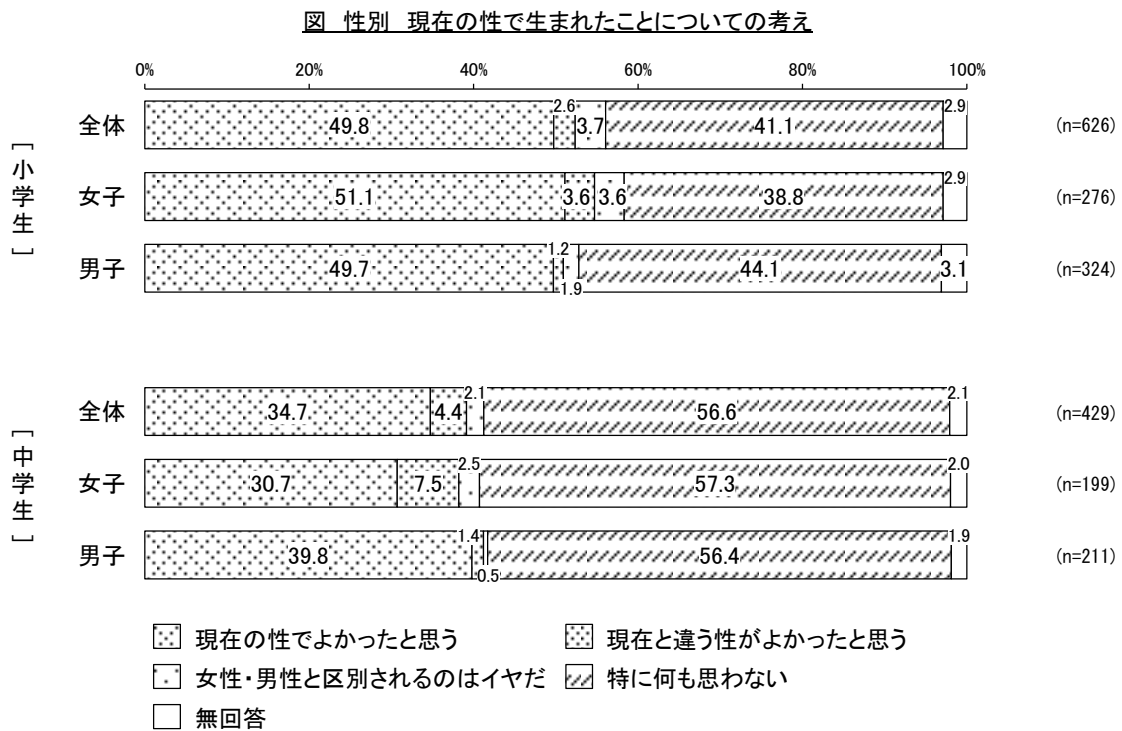


(23)現在の性で生まれたことについての考え

問19 あなたは、現在の自分の性別についてどう思いますか。(○は1つ)

現在の自分の性別についてどう思うかについては、小学生では「現在の性でよかったと思う」が49.8%で最も高く「特に何も思わない」が41.1%、中学生では「特に何も思わない」が56.6%で最も高く、次いで「現在の性でよかったと思う」が34.7%となっている。

性別にみると、中学生の女子では「現在と違う性がよかったと思う」が7.5%と、他の層と比べてやや高くなっている。



茨木市男女がともにつくるまちづくり
アンケート調査結果報告書
【小中学生調査】

平成29年(2017年)3月

発行 茨木市

編集 茨木市 市民文化部 人権・男女共生課

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号

TEL:072-620-1640 FAX:072-620-1725

E-mail jinken@city.ibaraki.lg.jp